

「『変革』と『妙機』で 年商200億円の企業へ」

～グローバル展開と商社機能の強化によりチャンスをつかむ～

村上産業(株) 代表取締役社長 清水 完二 氏

営業で培ったフットワーク
を経営に活かす

「社長さんのプロフィールを教えてください。」

「商社の仕事に携わりたい...そんな思いから、大学を卒業後、弊社に就職しました。入社後は一貫して本社の営業畑を歩きました。思い出深い業務は、平成10年、西条にアサヒビールの四国工場が設置された時の営業活動です。アプローチが上手くいかない中、当時の川之江支店長であった現会長と何度も通い、取引をスタートさせました。」

「今年の6月、社長という大役を拝命しました。厳しい経済情勢の中で、トップのフットワークが求められることから、50代の社長が大企業をはじめ地元企業でも増えています。私自身も50代社長として、アグレッシブな経営を行っていききたいと思っています。」

工業薬品の専門商社として
四国N.O.1の売上を有する

「企業の沿革や営業内容について教えてください。」

「弊社は明治32年、伊予絣で使用
する人造染料の販売から事業を
開始しました。その後、取引先で
あった、住友総本店肥料製造所
(現・住友化学(株))が化学肥料の
製造を始めたことを受け、全国第
一号の同社の肥料問屋となりま
した。農薬や肥料を中心に業容を
拡大し、現在は、工業薬品・合成樹
脂・肥料・農薬・飼料・日用雑貨を
取り扱っています。今治、川之江、
宇和島の県内はもとより、高知、
東京、名古屋、さらには上海にも



拠点を持つ、四国N.O.1の売上
を有する専門商社として事業を
展開しています。」

「松山本社では「住友肥料」の看
板を掲げていたため、肥料や農薬
を主とするイメージがあると思
います。農業資材が占める割合は
売上の2割程度となっており、8
割は松山の製造業をはじめ、川之
江の紙、今治のタオル、宇和島の
水産などに関する工業薬品です。
その中でも製紙関係が1/4を
占めています。」

製造業を取巻く環境が 業界にも影響

―業界の展望については―

工業薬品を主に取り扱うため、製造業の稼働状況に売上は大きく左右されます。昨今の景気低迷、20年続くデフレなどは製造業の出荷額に影響を及ぼしています。特に、弊社の中心となっていた製紙関係では、20%近くも製造量が減少しています。これは、産業の停滞や輸入品の増加はもとより、ペーパーレス時代の到来など、時代の流れによる部分も大きくなっています。また、円高などによる製造業の空洞化も大きな問題です。このように、業界のマーケットは縮小傾向にあり、いかに生き残るかが今後の大きな経営課題となっています。

グローバル化と 商社機能の付加価値向上

―厳しい時代の中で注力する取り組みは―

まずはグローバル化への対応です。製造業の海外進出が加速す

る中、弊社もそのニーズに添えていく必要があります。現在、上海に子会社を展開し、進出している日本企業への対応を行っていますが、さらに視野を広げ、近々にタイにも会社を設立する予定です。その拠点から、取引先の製造業とともに、インドネシアやインドなど、成長するアジアのマーケットに対して、事業を展開していきたいと考えています。

また、弊社の強みは、商社として製品を販売する際に、付加価値として提供する「技術」や「サービス」です。メーカーと協力して顧客に専門的なノウハウを提供し、また、ユーザーニーズをいち早くメーカーに伝え、新しい製品としてフィードバックすることを、他社との差別化に位置付けて取り組んできました。この機能をさらに強化していくことが、企業の発展につながると考えています。

変化に対応しチャンス を掴むことで事業拡大を

―今後の経営方針については―

社長就任時、幹部に対しては「最も強い者が生き残るのではな

く、最も賢い者が残るのでは無い。唯一生き残るのは変化する者である。」というダーウインの進化論を説きました。激変する社会環境の中で生き残るためには、会社全体が時代に合わせて常に変化することが求められています。経営も変革を念頭に取り組んでいきたいと思っています。

また、座右の銘でもあります「妙機」を掲げています。これは目の前のチャンスを実に掴むと

いう禅の言葉です。景気が低迷し、時代のニーズが変化する中でも、必ずビジネスチャンスはあります。後ろ向きにならず変化に対応し、機会を確実に掴むことができれば、厳しい経済環境でも企業の成長は可能だと考えています。

弊社は7年後に創業120周年を迎えます。時代にあわせた変革と、チャンスを実に掴む企業体制をつくり、売上200億円企業へステップアップしたいと考えています。

Profile

しみず かんじ
清水 完二氏

趣味は学生時代から続ける剣道(教士7段)。事業の傍ら、後進の指導へ熱心に携わる。

座右の銘は文中掲出の「妙機」。剣道を通じて得た言葉だとか。

昭和32年生まれ(55歳)
松山市出身 松山大学卒

昭和55年4月 村上産業(株) 入社
平成23年6月 取締役
平成24年6月 代表取締役社長

村上産業 株式会社

所在地: 松山市本町1丁目2番地1
TEL: 089-947-3111
<http://www.murakamisangyo.co.jp/>